



しんじゆくへの教育

編集・発行 / 新宿区教育委員会 新宿区内藤町87 電話3209-1111
http://www.city.shinjuku.tokyo.jp/

「新宿区子ども読書活動推進計画」を策定しています



国・都の動き
こつした中、平成13年12月に「子ども読書活動の推進に関する法律」が施行され、国や地方公共団体が子どもの読書活動に関する計画を策定することが定められました。東京都は平成15年3月に「東京都子ども読書活動推進計画」を策定し、都の取組みと区市町村に期待する取組みを示しました。

計画策定に向けて
新宿区では、子どもたちの本離れ、読書離れに積極的に対応するため、平成16年3月の公表予定に向けて策定作業を進めています。今号では、計画に盛り込もうとしている内容(骨子)と具体的な取組みをお知らせします。

中央図書館
☎(3364)1421



子どもたちの読書は今
読書活動は、子どもが言葉を学び、感性を磨き、表現力や創造力を高めながら将来の夢を育み、自己実現を図っていくために欠くことのできないことと考えられています。

しかし、一方で読書活動に関する最近の調査(1)によると、小中・高校生の不読者率(1ヶ月間1冊も本を読まなかった者)は過去最高を示し、読書離れに歯止めがかからない状態が指摘されています。さらに国際的な調査(2)でも、趣味として読書をしていない生徒の割合がOECD参加国の平均を大きく上回り、最も高い割合を示すなど、子どもたちの読書環境を憂慮し、積極的な整備の必要性が指摘されています。

1	「第49回学校読書調査(全国学校図書館協議会・毎日新聞社平成15年6月実施)」 <不読者率 - 1ヶ月間1度も本を読まなかった者>
小学生(4年生以上)	: 9.3%
中学生	: 31.9%
高校生	: 58.7%
2	「OECD(経済協力開発機構)生徒の学習到達度調査(PISA 2000年)」 <趣味で読書をしていない生徒の割合>
日本	: 55.0%
OECD参加国の平均	: 31.7%

計画の骨子と具体的な取組

- 子どもの読書の機会が増えるよう家庭・地域等の読書環境の整備を図ります。
- 家庭での読書活動の啓発・支援 / 読み聞かせに関する事業の推進・支援 / 地域ボランティア等との連携・支援 / 情報提供の充実 / 病院サービスなど
- 図書館・学校等における読書環境の充実を図ります。
- 中央図書館児童室の充実 / 図書選書、レファレンスの充実 / 学校図書館図書の充実 / 学校図書館におけるボランティアの活用 / 研修の充実 / 団体貸出の利用推進など / 区立図書館と学校図書館の連携 / 外国語のお話し会の開催 / 人形劇等の充実など
- 読書活動に関わる人たちと団体を支援します。
- 地域ボランティアとの連携 / 情報提供の充実 / 「読み聞かせ会」講演会の開催

「新宿区子ども読書活動推進計画(素案)」の全文を配布しています。
各区立図書館・広報課(本庁舎3階)・教育政策課企画調整係(四谷庁舎5階)で配布するほか、新宿区ホームページの図書館のページでも全文をご覧いただけます。

「新宿区子ども読書活動推進計画(素案)」について、ご意見をお寄せください

ご意見は、平成16年1月6日(火)までに中央図書館管理係(〒161-0033 下落合1-9-8)へ郵送(必着)・FAX(5389-2241)またはご持参ください。新宿区ホームページでも受け付けています。
(パブリック・コメントの詳細については、ホームページと「広報しんじゆく」12月15日号に掲載しています。)



読み聞かせをする親子(中央図書館児童室にて)

親しまれる 歴史博物館 に向けて

教育委員会では、昨年発生した歴史博物館所蔵資料の事件・事故をふまえ、厳正な資料管理のもとで、これからの歴史博物館が区民をはじめできるだけ多くの方から親しみをもっていただけるよう検討してきました。

昨年12月には、「親しまれる歴史博物館を考える会」を設置し、博物館のさまざまな課題とその対策について議論を重ねてきました。この検討結果がこのたび、「提言」としてまとめられましたので、概要をお知らせします。新宿区はこの「提言」をもとに、親しまれる歴史博物館づくりに努めていきます。

生涯学習振興課文化財係
☎(3341)5137



親しまれる歴史博物館 を考える会提言の概要

基本的方針

資料収集意図を明確にする
的確な資料収集を行う。
資料の綿密な調査をする。
資料を責任をもって保存し、活用する。
職員的能力と施設を活かす。
これらの方針のもと、区民の参加をより進めるための体制が必要です。

具体的な取り組み

・博物館経営の活性化
常設展示の工夫や思い切った事業展開の実施、区民からの調査要望に応じられるレファレンス機能の確立、また、区内民間スポンサーとの共同企画やミュージアムショップの設置など柔軟な運営を行うとともに、博物館の積極的なPRを行う。また、諮問機関や友の会を設置したり、多様な場面でボランティアを活用し、博物館の運営の活力とする。

・子どもに親しまれるための博物館
小さな子どもたちが遊びに来られるような雰囲気づくりや保護者への情報提供を行う。また、学校との緊密な連携により、小・中学生の利用を促進する。

・IT活用による博物館情報の提供
所蔵資料を適正かつ有効に活用するためデータベース化し、誰もが気軽に情報を活用できるよう、ホームページを利用して十分な情報提供を行う。
・施設・設備などの環境整備
子どもからお年寄りまであらゆる年代にとって魅力的な博物館となるよう、表示案内の整備や展示室の充実など、くつろげる環境づくりを行う。

なお、「提言」の全文は生涯学習振興課文化財係・新宿歴史博物館区立図書館・区政情報センター等で閲覧できるほか、新宿区ホームページ
(http://www.city.shinjuku.tokyo.jp/)でもご覧いただけます。



新宿区すべての 小・中・養護学校、幼稚園で いろいろな活動に取り組んでいます

特色ある学校(園)づくり

新宿区では、すべての小・中・養護学校、幼稚園で子どもの確かな学力の向上とより効果的な人間性の育成のために、特色ある学校(園)づくりを進めています。

「特色ある学校(園)づくり」とは、学校(園)が従来の教科の授業を行うだけでなく、子どもや保護者、地域の期待に応え、学校(園)の創意工夫で子どもの生きる力を育成する取り組みです。具体的には、「ゲストティーチャーとして地域の方を招く」、「ボランティア活動を通して積極的に地域と交流する」、「環境を生かした自然観察を行う」、「英語活動を通して国際理解を深める」、「伝統・文化に触れ、郷土愛を育む」など学校や地域の特色を生かした活動を行っています。

教育委員会では、今年度、特色ある学校(園)づくり事業として20校(園)に予算の支援をしています(下表参照)。今後はさらに多くの学校(園)に拡大をしていく予定です。

こうした特色ある学校(園)づくりの取り組みの中で、子どもたちは新しい分野や人との出会いにより、個性や可能性を伸ばし、地域とのかかわりによって生きる力を身に付けていくと考えています。

各校の特色ある教育活動のうち予算の支援を行った20校

学校(園)名	活動内容
西戸山幼稚園	地域のネットワークを生かした幼稚園教育
鶴巻幼稚園	子育て支援
戸山幼稚園	英語で遊ぶ
市谷小学校	金沢小との交流教育
富久小学校	英語活動の研究開発
東戸山小学校	デイケアセンターとの交流
四谷第三小学校	天童市との交流教育
四谷第四小学校	心と体の健康教育推進モデル校
四谷第六小学校	学力向上プラン
花園小学校	開かれた学校、理科・環境教育の推進
大久保小学校	豊かな人間性を育む環境教育
天神小学校	国際理解教育
戸塚第三小学校	心と環境グローアップ
落合第一小学校	一人二鉢運動
落合第六小学校	地域に伝わる日本の文化
西新宿小学校	英語教育と国際交流
西戸山小学校	伝統工芸手描友禅染
四谷中学校	学力向上プラン
戸塚第一中学校	地域の諸教育機関との連携・教育(9年間の教育計画)
戸山中学校	商業体験学習「SSSin大久保」

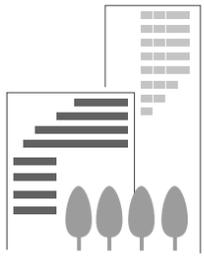


落合第一小学校

一人二鉢運動「自分と町を花で飾ろう」「これは私たちが育てた花です」と差し出す子どもたち。「ありがとう、大切に育てます」と笑顔で受け取る駅消防署児童館などの地域の皆さん。今年度、落合第二小学校では、「一人二鉢運動」一鉢は自分や家庭に、もう一鉢は地域に「」に取り組んでいます。種まき、水やり、植え替えと一生懸命に世話をして、ペチア、ア、マリーゴールド、コスモス、百日草などを育ててきました。子どもたちが自ら育てた花で町を飾ることをきっかけとして、地域に愛着を持ち、心豊かに育ってくれることを期待しています。

研究発表校(園)の推進

新宿区では、現在の区の教育課題や学校(園)内の課題について、モデル校を設定して2年間の研究を進め、毎年8校(園)程度が研究の発表を行っています。研究発表校は、学校ごと「総合的な学習の時間や各教科の指導や評価について」、「小・中連携のあり方について」などの統一テーマを設定し、全学年で取り組んでいきます。「クラスの授業を校内の先生全員で見学し意見を出し合ったり、講師を招いてテーマを分析したり、工夫をこらしてよりよい授業づくりの研究を進め、公開授業として発表します。特に、全国研究大会として行われる研究発表には、自校だけではなく区内他校の教員も協力し、より充実した発表となっています。こうした研究発表を重ねていくことにより、教員の指導力を向上させ、区立学校全体のレベルアップにつながっていくと考えています。



西戸山小学校

西戸山小学校では、「ここかせ、ここからだ」を共通イメージに掲げ、自ら学び、豊かにかかわる子どもたちの育成問いをもつて追究し、学びあう活動を通して、「をテーマに、社会科・生活科において2年間の研究を進めてきました。10月31日には、全国小学校社会科学研究協議会東京大会を兼ねた研究発表を行いました。社会科では、「市民・国民として行動する上で必要な資質」、言い換えれば「みんなの中で生きていける知恵」の基礎を身につけることが目標であり、体験的な活動や多様な活動を通して子どもたちが問いをもつて追求し、意欲的に学び合うことで、社会的な見方や考え方が育まれると考えています。

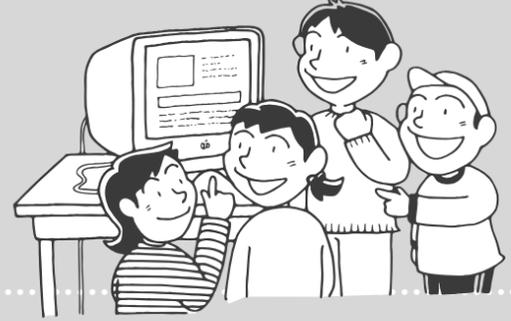


戸塚第二小学校

戸塚第二小学校のテーマは、「感じる子・調べる子・考える子の育成」。理科・生活科を通して、「地域の自然観察を中心とした、見つけた活動」を通して、自然環境に触れる機会を増やし、自分で課題を見つけ考えるという活動を行うことができました。子どもたちは疑問を感じたり感動する体験を繰り返す中で、自分で調べ解決することや学んだことを生活に生かすことを身に付けてくるとともに、自然を愛する心も育ってきています。

教室にパソコンが来た!

校内LANモデル校の実践から



すでに、余丁町小学校は、情報教育について先進的な研究を進めており、これまでもコンピュータを利用した授業をたくさん行ってきました。総合的な学習の時間でも、コンピュータ室の利用が多くなり、各学年で競ってコンピュータを利用してきました。校内LANの整備により、自分の教室のコンピュータを使ってインターネットによる調べ学習や学習発表ができるようになりました。子どもたちがコンピュータに触れる機会がさらに多くなったため、一人一人のコンピュータリテラシーもますます向上しています。また、新しい「ミニモニ」のひとこととしてネットワークを介した掲示板やメールの体験も行っています。指導する教員も教材研究などにコンピュータを活用し、子どもたちのコンピュータリテラシー向上のための授業づくりに努力しています。

(1) コンピュータリテラシーとは...

コンピュータをはじめとするIT技術を使いこなす能力のこと。コンピュータの基礎的な動作原理や特性、適用場面の理解や、キーボードやマウスなど機器の扱い方、文字入力や基本的な操作方法、データや情報の処理方法などが含まれます。

そこで、新宿区でも本年9月よりモデル校として、新宿区立余丁町小学校で校内LANの運用が始まり、普通教室に各2台、6つの特別教室に各1台のコンピュータが配置されました。



問合せ 教育指導課

☎ 333414574

「しんじゅくの教育」編集担当は、皆様のご意見・ご感想をお待ちしております。また、新聞を購読していただき、郵送で「しんじゅくの教育」の方へご連絡ください。

小学校 学校選択制度(9月1日~24日) 選択結果

学校名	受入可能数	通学区内の児童数(A)	通学区以外の方の選択希望者数(B)	通学区内の方でほかの学校への選択希望者数(C)	計(A+B-C)
津久戸	80	31	12	5	38
江川	80	41	1	21	21
市谷	80	75	28	4	99
愛日	80	37	7	6	38
早稲	120	84	23	19	88
鶴巻	80	36	1	18	19
牛久	80	55	10	11	54
富仲	80	24	6	8	22
余丁	80	54	33	7	80
東山	80	37	16	10	43
四第	80	53	11	5	59
四第	40	38	6	20	24
四第	80	40	3	9	34
花大	40	33	11	5	39
久保	80	52	2	26	28
天神	80	26	7	16	17
戸山	120	65	21	21	65
塚第	80	80	16	1	95
戸第	80	48	9	19	38
戸第	80	35	3	18	20
落第	80	84	16	10	90
落第	80	58	6	16	48
落第	120	55	29	3	81
落第	80	83	11	8	86
落第	80	41	5	16	30
落第	80	60	2	16	46
淀橋	80	43	7	12	38
柏木	80	48	11	4	55
西新	80	45	0	3	42
戸山	80	52	26	2	76
西計	2,440	1,513	339	339	1,513

中学校 学校選択制度(10月1日~31日) 選択結果

学校名	受入可能数	通学区内の生徒数(A)	通学区以外の方の選択希望者数(B)	通学区内の方でほかの学校への選択希望者数(C)	計(A+B-C)
牛込第	160	94	45	41	98
牛込第	120	113	38	17	134
牛込第	120	158	58	9	207
牛込第	160	165	15	4	176
戸塚第	120	104	28	7	125
東山	120	137	4	92	49
落合第	120	127	22	7	142
落合第	160	178	20	9	189
西新	120	127	9	4	132
西大	120	73	9	32	50
西戸山	120	91	27	8	110
西戸山	120	98	0	43	55
西戸山	120	93	15	17	91
西計	1,680	1,558	290	290	1,558

区立小・中学校の学校選択制度の 申し込み状況をお知らせします!

新宿区では、平成16年度に小・中学校へ入学する新1年生を対象に、学校選択制度を実施します。今号では、9月と10月に実施した小・中学校の申し込み結果等の概要をお知らせします。学校選択制度について、詳しくは新宿区のホームページ(<http://www.city.shinjuku.tokyo.jp>)の教育委員会のページをご覧ください。

【小学校】

【市谷・戸塚第一・落合第一・落合第四小学校】
受け入れ可能数を上回りましたが、抽選を実施しませんでした。施設状況、私立小学校への過去の入学の動向等を検討した結果、希望者全員の入学が可能なと判断したためです。

【余丁町・花園小学校】
入学希望者数は受け入れ可能数とほぼ同じでしたが、通学区域外の方を対象に抽選を実施しました。過去の転入者の動向等から、今後、受け入れ可能数を上回る可能性があり、施設の状況も教室の転用が困難なためです。

【西戸山小学校】
受け入れ可能数は超えていませんが、今後の転入者の動向等から推測すると受け入れ可能数を上回る可能性もあります。抽選は実施しませんでした。隣接通学区に今後転入・転居する方は、受付順に補欠登録することになります。

【中学校】
牛込第一・牛込第三・四谷・戸塚第一・落合第二・西新宿中学校で、入学希望者数が受け入れ可能数を上回りましたが、施設状況、私立中学校への過去の入学の動向等を検討した結果、希望者全員の入学が可能と判断し、すべての学校で抽選は行いませんでした。

【中学校】
牛込第一・牛込第三・四谷・戸塚第一・落合第二・西新宿中学校で、入学希望者数が受け入れ可能数を上回りましたが、施設状況、私立中学校への過去の入学の動向等を検討した結果、希望者全員の入学が可能と判断し、すべての学校で抽選は行いませんでした。

【中学校】

【中学校】
牛込第一・牛込第三・四谷・戸塚第一・落合第二・西新宿中学校で、入学希望者数が受け入れ可能数を上回りましたが、施設状況、私立中学校への過去の入学の動向等を検討した結果、希望者全員の入学が可能と判断し、すべての学校で抽選は行いませんでした。

【中学校】
牛込第一・牛込第三・四谷・戸塚第一・落合第二・西新宿中学校で、入学希望者数が受け入れ可能数を上回りましたが、施設状況、私立中学校への過去の入学の動向等を検討した結果、希望者全員の入学が可能と判断し、すべての学校で抽選は行いませんでした。

子どもの学力低下と
生きる力について
教育長 山崎 輝雄

新しい学習指導要領がスタートしてから二年になります。この間、批判や不安が取りざたされている学力低下について、また新たに導入された総合的な学習の時間について、教育委員会と学校ではどのような取り組みをしてきたか、この紙面を借りて報告します。

学校週五日制の実施に伴い、授業時間や学習内容が減ったことで子どもの学力低下につながるのではないかと心配される意見もあるかと思えます。文部科学省は、「授業時間数が減る代わりに、教える内容を厳選し、従来の詰め込みや丸暗記といった知識を増やすのではなく、基礎・基本の定着を徹底することで、授業が

分らない子をなくす」と説明しています。二つした点に関して、新宿区教育委員会は、小学校六年生から中学校年生への移行期の学習内容の重複や空白部分をなくすため、四谷地区をモデルとして、中連携の取り組みを行ってきました。今では、区内全校で同様の取り組みをしています。また、各学校では、基礎・基本の定着を図るため、二人の先生を配置したり、クラスを二組に分割した少人数による学習や同じ教科でも習熟度によってクラスを分けるなど工夫をこらして学力の向上に取り組んでいます。

また、総合的な学習の時間が平成14年度から始まりましたが、新宿区では平成12年度から試行してきました。この狙いは、単に知識の量を増やすだけでなく、社会奉仕や自然体験を通して、積極的に自ら考える力、新しい時代を切り拓く「生きる力」を身に付けさせようという

ものです。教育委員会と学校では、子どもたちが自ら課題を見つけ、解決する力を身につけるため、地域と連携した新たな教育活動を進めています。このモデルとして、戸山中と大久保中の生徒が5年ほど前から百人町大久保地区の商店街での商業体験学習を行っています。この活動はPTAと地域と学校の三者が体となって実現したケースです。子どもたちはこの体験で学んだ成果を校内で発表し公開しています。今後はさらに子どもたちの生きる力の育成と健やかな成長に努めていきたいと考えています。

子どもたちに必要な学力は、知識だけではなく、思考力、判断力、表現力、学習意欲などです。これらも総合的な学力を身につけさせるよう、地域に根ざした学校の利点を十分に生かした運営に努めてまいります。

地域で育てる子どもたち

祭

教育委員会では、地域の教育力の充実・支援として、多くの活動団体と連携し、地域の大人たちが主体となって行う子どもたちの体験活動を推進しています。今回は、これから実施が予定されている行事をご紹介します。

「コーイヤー♥キッズミュージアム」
昨年に引き続き、和太鼓や芝居づくりなど子どもたちの表現活動を行う地域団体が協力して、舞台の博覧会を開催します。親子で一緒に舞台を楽しむとともに、地域団体が交流することによって、さらには個々の活動が活性化されることを願っています。

【日時】平成16年1月18日(日)
公演時間/午後1時30分、3時30分、開場午後1時

【会場】牛込筆筒区民ホール
【参加費】無料、茶話会は自由参加、お茶代200円

【主催】同ミュージアム実行委員会
【主催】同ミュージアム実行委員会
中学生実行委員と子どもたちが主役!!
「子どもセンターまつり2004」
中学生が実行委員となり、新宿子どもセンター協議会の大人と協力して企画運営するこのイベントも、来春で5回目を迎えます。

【日時】平成16年3月27日(土)
【会場】新宿区立大久保中学校
昨年は、中学生16名で実行委員会を結成。開催にむけて、何度も話し合いを重ねました。大人も様々な形で協力をしましたが、実行委員の自主性を生かして運営していきました。

当日は、「心理ゲーム」おまけ付きゲームなどの様々な「Tナ」が設けられ、会場は約200人の親子連れで賑わいました。収益金は、実行委員会の発案で、介助犬協会に寄付されました。

子どもセンターまつり2004

中学生実行委員、募集中!

「子どもたちが楽しめるおまつりってどんな感じ?」「自分たちが楽しいことがいんげんやない?」などなど、みんなで意見を出し合い、作り上げるのが実行委員会です。「やってみたいこと、やりたいこと」の実現に向けて一緒に活動しませんか?どんなイベントになるかはみなさん次第です。中学生の方こそご応募下さい。

【問合せ】生涯学習振興課地域教育係
☎(33341)4434



自分たちでつくったものを売ってペンチャー体験!

